

E. 三富開拓と武蔵野の面影

■道程/6750m ■所要時間/約2時間15分(見学時間を除く)
●東草橋バス停…鶴瀬駅西口からバス乗車約10分

- 1 三富地割景観 ★
- 2 正徳の庚申塔
- 3 島田伴完寺子屋跡
- 4 御嶽神社
- 5 大石燈籠
- 6 いぼとり地蔵
- 7 旧島田家住宅 ★
- 8 天王様
- 9 開拓名主島田家長屋門
- 10 多福寺 ★
- 11 穀倉 ★
- 12 甘藷の碑
- 13 木ノ宮地藏堂 ★
- 14 多間院 神社・いも神社
- 15 浅間神社
- 16 緑のトンネル



⑦旧島田家住宅



①三富地割景観

①三富新田の開拓 元禄7～9年(1694～96)に川越藩主柳沢吉保の命により行われた、1400haに及ぶ畑作新田開拓。三富とは、三芳町上富、所沢市中富、下富の総称。

現在、秋には“いも街道”と呼ばれる六間道沿いに、1軒分が間口40間・奥行375間・広さ5haの短冊状の地割が残り、屋敷・畑・雑木林が整然と続く景観を今でも見ることができ、埼玉県指定旧跡。

③島田伴完寺子屋跡 江戸時代天保年間(1830～44)から島田伴完が自宅を開放して寺子屋「玉泉堂」を開設。近郷より延べ300人以上の子弟が学んだ。入口の寿蔵之碑は、門人達が師匠の長寿を祝って明治12年に建立したもの。寺子屋に使用していた母屋は、現在、旧島田家住宅として移築復元されている。

⑩多福寺 臨濟宗。三富山多福寺と号する。本尊は釈迦如来立像。三富開拓入植農民の菩提寺として元禄9年(1696)に創建。境内には元禄の井戸や県指定文化財の銅鐘、三芳町指定文化財の倉などがある。周辺の雑木林は県自然環境保全区域に指定され、野鳥も多く棲息する。

⑬木ノ宮地藏堂 別名武蔵野地藏堂。創建年代は不詳だが、その成立は少なくとも中世末期までさかのぼる。内陣の格天井には107枚の山野草の天井画が描かれており、春と夏の祭礼には中に入り、見学することができ。三芳町指定文化財。



⑩多福寺

